



令和4年10月26日発行

立山町教育センターだより 号外18

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

中学校では、合唱コンクールのシーズンです。舟橋中学校は先週開催され、雄山中学校は今週開催されます。立山町教育センターは雄山中学校に併設されているので、時々聞こえてくる美しい歌声に包まれて、日々、心豊かに仕事をしています。歌は素敵ですね。

第3回学校運営研修会 R4.10.21 立山中央小学校にて

学校の危機管理 ～学校の危機をいかに防ぐか～ 雄山中学校 校長 高瀬知郎

危機管理に対する基本的な考え方について、経験を交えながら具体的にお話し頂きました。組織で危機感を共有し危機の発生を未然に防ぐ「リスクマネジメント」と重大問題発生後の被害やダメージを最小限に抑える「クライシスマネジメント」の発想や手法、教育公務員として個人が担う義務と責任、心構えについて、教えて頂きました。危機管理の「さしすせそ」＝「最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応」は安全・安心な学校づくりに向けて、全ての学校において組織として共有すべきマインドセットです。

《参加者の感想より》

- ・危機管理に対する意識を高くもつことが大切だと感じました。慣れてくるとその意識が低くなってしまふことがあるので気を付けたいと思います。教職員間での情報共有、報告・連絡・相談は危機管理においても重要であると再認識できました。危機管理能力が高い人の特徴を意識して、そうなれるように日々の活動に取り組んでいきたいです。
- ・ヒヤリ・ハットを話し合った際に、思い浮かべることができなかったことが、危機管理意識が低いことの表れであると反省しました。若い頃に先輩方から指導していただいたこと、例えば、服装の指導、環境の整備、衛生指導等、当時は「こんな細かいこと」と思っていたことが全て危機管理につながっていると思います。そういったことを今の若手にも伝えていくことが学校全体の危機管理を高めることになると感じました。

文責 舟橋中学校 教頭 小林仁美



それぞれが教育計画をもう一度、読み直してみよう

2学期の通常訪問研修会が行われている最中である。区域内どの小中学校においても訪問研修会を指導力向上の大切な機会として位置付け、教師と子供が大きく成長できるよう単元構想や指導過程を工夫し、仲間と熱心に協議したり指導主事の指導を積極的に仰いだりする姿が見られ、区域の先生方の熱心さをひしひしと感じ、頼もしく思う。

教育事務所からの指導の中でよく耳にする言葉がある。「綿密に計画された中で・・・」「当校の教育計画の中で述べられているように・・・」。教育活動や教育指導は、年度当初の計画に沿って実施されているということを改めて認識する場面である。授業を構想するときには、まず、研修計画を読み直そう。文章の中にはっとする言葉やこれだと閃く文言があるはずだ。それを授業構想に生かしていこう。指導の柱になること、指導の具体的内容が満載の教育計画を、今こそ大切に、もう一度読み直してみよう。

文責 指導研究主事 林寺正芳